



特定非営利活動法人 **あい・友**

特定非営利活動法人 あい・友
本部：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-38-5
TEL:03-3458-1793 FAX:03-3469-5312
支部：〒530-0044 大阪市北区東天満 2-10-24
TEL:06-6357-8481
発行責任者：高須賀 清 第2号 11月1日発行

理事長挨拶

NPO法人「あい・友」は、正・賛助社員数 33 名で、2008 年 6 月 10 日に発足しました。今日現在、正社員数 40 名、法人会員数 1 社、賛助会員 15 名と合計 56 名、23 名の増加があった事は大変な成長であり、嬉しい事です。これからももっともっと会員を募り、特色のある活動をしたいと思っています。



100 年に一度の大恐慌だと言われている今だからこそ、弱者と言われる高齢者・障がい者に携わる我々の団体の存在価値があるということ、全員一致で世の中にアピールしていきたいし、我々の組織が世の中で必要であることを認識してもらえるような活動をしたいと思っています。

去年から計画していた植物工場プロジェクトも、思うようには進んでいないのが現実です。この志向が間違っているとは考えていません。むしろ先取り過ぎるのではないかと考えています。

メンバーの好意で当法人名の実験農場という看板を掲げさせてもらっている上田市の植物工場を、メンバーの有志 24 名(約 43%弱)で見学し、実感として植物工場をとらえる事が出来るようになったことは、今後の我々の進むべき道を認識するのに大変役に立った事だと信じています。

多くの参加者は自分でも働ける場所、働いても良い環境が植物工場にあるという認識を持つと同時に、安心・安全・安定の上で、出来あがる農作物を食して、実感としてこの事業は進めるべきであるという感覚を持つ事が出来た事は大変力強い事です。

今、我々の希望であり、我々が直接、運営するパイロット植物工場設立のための資金を得るために、いろいろと努力をしています。例えば、国の補助金事業を行うとか、企業と共同で事業を行うとか、いろいろな可能性を追って活動をしているところです。しかしながら、100 年に一度の世界的な経済大恐慌の時代は NPO 活動にとって想像以上に厳しいものです。

今期、我々が目指す活動は、非営利活動として 2010 年 1 月 22 日にチャリティーコンサートを開きます。素晴らしい古箏と打楽器にピアノという不思議なアンサンブルですが、絶品のコンサートだと思っています。このコンサートを全国持ち回りで開く計画が進んでいます。

また、それ以外にも環境問題のシンポジウムの開催など、いくつかの活動も予定されています。

また、営利活動事業部は NPO 直営のパイロット工場設立のために何らかの手が打てるどころまで、進めたいと思っています。直営の植物工場を持つということは、NPO で資産を持つということです。この直営のパイロット植物工場計画案に賛同してくれるメンバーの方々に負担にならない程度の資金を援助していただき、それを元金としてファンドを募り、運営していくと言うことも可能なことだと思っています。この方法論は総会に計られていませんが、メンバーの方々にもっともっと理解を深めていただくための努力をする所存です。

同時に、メンバーの方でこのプロジェクトに参加したい方は、事務局まで申し出てください。大歓迎です。いろいろな形でのご協力をお願いいたします。

(理事長 前田 久美子)

農業工房プロジェクト

NPO法人「あい・友」では、定款でその他の事業に掲げた「農業工房プロジェクト」*の実働に向けて、営利活動事業部をはじめ、各理事、事務局のメンバーで、様々な活動を行ってきました。初年度の段階では調査が中心ですが、実働に向けて現在も活動中です。ここでは、初年度の活動の一部を紹介いたします。紹介した活動以外にも、日本施設園芸協会・農林水産省「植物工場フォーラム」(4月6日)、三菱総研「植物工場研究会」企画発表会(5月13日)、パソナO₂への見学、その他植物工場見学、などに参加し、情報収集を行いました。また、月1回、理事で行われる運営委員会では、植物工場に対する理解を深めるため、勉強を行っております。 * 障がい者、高齢者のための植物工場

▶ 実験植物工場見学ツアー

1. 実施内容

日程：平成21年4月3日(金)～4日(土)

宿泊先：信州戸倉上山田温泉 亀屋本店

交通機関：小型バスチャーター(ガイドなし)

スケジュール：

【1日目】若菜館にて昼食、上田城跡公園、青木村「あい・友実験植物工場」見学、無言館、生島足島神社、戸倉上山田温泉にて懇親会、宿泊

【2日目】善光寺、善光寺宿坊にて昼食、小布施散策

参加人数：18名参加(1名日帰り)

参加費用25,000円(1人)

2. 活動記録

4月3日(金) 1日目

(見学場所：上田城跡公園、実験植

物工場、無言館、生島足島神社)

3日の午前8時15分、新宿駅西口モード学園前集合。時間通りにメンバーが集まり、晴天にも恵まれ、8時半頃、一同、新宿を出発。樋口副理事長の挨拶の後、ビール等を飲みながら、3時間程、バスの中を楽しく過ごす。予定より早く到着したため、上田城跡公園を見学。その後、若菜館にて昼食を食べ、今回のツアーの目的である、「NPO法人あい・友実験植物工場」の見学のため、青木村へ向かう。

「実験植物工場」の見学では、(株)ランドマチスの田川社長(あい・友会員)、社員の方より植物工場の説明を受け、更に、田川社長のご好意により、今回は特別に植物工場内の見学が許可される。通常では入れない植物工場内を見学でき、一同興味津々の中、工場内を見学、写真撮影

を行う。また、実際に工場でできた野菜を試食させていただき、その新鮮さと美味しさに驚かされる。

旅の主目的を果たした後は、無言館、生島足島神社を観光し、18時頃宿へ到着。19時より、懇親会をかねた夕食をいただく。宇田川理事の司会のもと、前田理事長の挨拶、高須賀副理事長、樋口副理事長の挨拶もあり、今後のあい・友の発展と植物工場建設に向けての抱負が語られる。また、あい・友会員の方々より、差し入れのお酒もいただき、時間を忘れ楽しいひと時を過ごす。

4月4日(土) 2日目

(見学場所：善光寺、小布施)

2日目は、御開帳前日の善光寺を観光。善光寺へ向かうバスの中、参加者の1名が誕生日のため、皆でお祝いをする。善光寺では、ガイドの



▲スイスチャード



◀実験植物工場の看板

▶植物工場の入口
で全員記念撮影



案内のもと資料館、本堂の内陣を拝見し、宿坊にて昼食をいただく。その後、バスで約30分、小布施へ向かう。小布施は、「栗と北斎と花のまち」と呼ばれるように、町おこしの成功例として有名で、整備され、洗練された観光地であった。自由散策のため、北斎館や甘味処で名物の栗をいただくなど、各自、小布施を満喫する。そしてそのままバスで約4時間、新宿へ向かい、樋口副理事長の挨拶の後、解散となる。

3. その他（事務局より）

今回のツアー参加者の内訳は、会

員：13名（事務局1名）、非会員：5名でした。会員、非会員の方々ともに楽しんでいただけたようで、実りのあるツアーとなりました。また、非会員の方々にも、あい・友の活動を理解していただいたことは大きな成果でした。

ツアー直後、非会員で参加された猿渡様が賛助会員となってくださいました。

今後も一人でも多くの方にNPO法人「あい・友」の活動を知っていただけるよう、事務局はいろいろなツアーやイベントを企画していきたいと思っております。

▼健康に育っているレタス



▶ 富良野視察

参加者：

榊光と風の研究所・・・鈴木孝雄
株ナバ・・・高田容治、千葉幸子
NPO法人「あい・友」・・・前田久美子

日時：2009年2月12日・13日

目的：

- ・農商工連携事業の応募に対する可能性
- ・農業者としての受け入れ態勢の可能性

受け入れ側：

高田忠尚前富良野市長

社会福祉法人エクエート富良野

・・・西川恵一理事長

社会福祉法人富良野あさひ郷・養護老人ホーム富良野寿光園

・・・宮川泰幸施設長

医療法人社団博友会・北の峰病院
精神保健福祉士

・・・久田茂医師

(株)共済農場

・・・亀山清雄営業担当取締役

結果：植物工場に対する説明

- ・寒さが厳しいし、曇り日が多い（10月から4月まで）のに、太陽光を使った植物工場の稼働できるのか。



◀植物工場設立予定地（雪の中の撮影）

- ・太陽光を使わずに植物を作るというコンセプトは如何なものか。
- ・通年、出荷が出来るということは魅力的。但し採算が取れるのかどうか、いまいち不明。
- ・障がい者・高齢者・省エネ植物工場などは大変良いコンセプトであるが、補助金が終わった後のフォローがどうなるのか。
- ・規模が（提案している）小さすぎて、テスト農場としてしか考えられないのではないか。
- ・ブランド化と言うことは大変難しいこと。そのためには通年、相当量の出荷を見込み、且つ、売れ残ることも考慮に入れてやらねえといけないが、100坪で毎日300個程度の出荷ではそれも考えられないのではないか。
- ・人口は25000人。旅行者は210万人/年。ホテルに泊まる

- 人が大部分だが、その人たちの「食」を考えても、サラダ菜（レタス）でどの程度、コンスタントにはけるかが不明。
- ・旅行者向け（おみやげ）として、ブランド「野菜」を考えるとしても、難しいのではないかと（規模が小さい過ぎる）。
- ・一面の雪で、年4ヶ月間は太陽が殆ど出ず、日照時間は北海道の中でも極めて少なく、太陽光の利用が期待できない。
- ・障がい者施設はいずれも立派なものが建てられており、個室も広くゆったりとしていたが、自立支援という点ではまだ課題がありそうに感じた。
- ・寒冷地の富良野で、植物工場を事業として成功させることができれば、その意義は大きいものと思われる。

副理事長挨拶

非営利事業部初年度【第一期】活動報告

初年度は、NPO法人「あい・友」にふさわしい活動を探し求めることに終始し、会員一人一人が納得のいく活動を見つけるための一年であったと言えます。『・・・らしい』ということは難しい事で、数々あるNPO法人との差別化をどのようにはかるか、活動内容をはじめ、どのような活動が我々に適しているか、真剣に討論を重ねました。時代が100年に一度の大恐慌だといわれる時の活動は難しいものです。

営利活動事業部の準備活動に参加し、現状で可能な活動を地道にやっつけていこうという結論に達したところです。

初年度

チャリティーイベント開催事業：

- ・ゴルフコンペを大阪で実施し、その売上をエリザベスサンダースホームの改造費用として寄付をしました。東京でのゴルフコンペは都合により中止しました。

環境問題・提言支援事業：

- ・リサーチのみをしました。いろいろな分野の専門家をお願いし、来期の勉強会や講演会のために情報収集に努めました。

寄付事業：

- ・エリザベスサンダースホームへ寄付いたしました。長続きのする寄付先を決めるつもりです。

地域活性化推進事業／他団体との連携・支援事業：

- ・ともに活動は見送りました。

NPO法人「あい・友」としては、理事会・運営委員会を毎月一回開催し、理事達のコンセンサスを取るべく活動をいたしました。見学会や補助金申請などかなりいろいろな活動をした1年でありました。

(副理事長・非営利事業部部長 高須賀 清)



NPO法人「あい・友」の2年目スタートにあたり

「大きな志をもってスタートしましたNPO法人「あい・友」ですが、営利活動事業部は世の中になくない仕組みを作り立ち上げていくという大変な事業です」ということを昨年のスタート時にお話ししましたが、そのとおりになりました。某大手企業の特例子会社設立の支援をし、確実なスタートの予定でしたが、大手企業の思惑に載せられた格好でノウハウの提供だけに終わりました。その後、経済界100年に一度の大不況に見舞われ、特例子会社構想は敬遠されるようになりました。そこで、我々は時間をかけてでも自らの手で実験植物工場を立ち上げようと方針変更し、現在に至っております。

1. 現地調査ならびに植物工場や関連企業を、社員延べ28人で現地見学会を行い、実体験として植物工場を認識できるまで勉強できました。
2. 候補地の絞込みを始め、単独ではなく企業を中心に具体化し、その一部施設を借りる方式がベストであるという意見でまとまりました。
3. 問題は資金調達と運営責任者の選定です。概算運転資金として最低500万円は必要と考え、企業との話し合いが成立した段階で、資金調達の為に積極的に会員増強を行いたいと考えております。
4. 実行に当たり、実験プラントの立ち上げを優先し、軌道に乗った段階で障がい者や高齢者での植物工場運営を開始する方法を採用したいと考えています。
5. 会費以外の資金手当てとして、国の補助金獲得の手続きを行い、積極的に資金調達と考えています。世の中は植物工場の認識が高まり、民間ファンド野協力も積極的な資金調達の一環と考えています。

手探り状態で始めて1年が経ち、どうやら光が見えてきました。これからも会員皆様の物心両面のご支援をお願い致します。(副理事長・営利活動事業部部長 樋口 武英)



事務局だより

第2号ニュースレター発行に当たって

厳しい社会情勢の中発足したNPO法人「あい・友」が何とか体をなしてきたことをご報告できるニュースレターが発刊できる幸せを感じております。いまだ、海のものとも山のものともわからないといわれる会

員の方もおられますが、このニュースレターを読んでいただきますと各人各様に試行錯誤を繰り返しながらも初めに志した方向へと着実に準備を進めていることがお分かりいただけるものと思います。会員みなさまに参加いただけるイベントなども2期目には計画することもできるようになり、足が地に着いた活動を推進するように心がけ

ておりますので、しばらくあたたかく見守ってやっていただきますようお願い申し上げます。NPO法人「あい・友」ホームページも下記URLにて発信を開始いたしますので、皆さまのご提案、ご意見の発信を心よりお待ちしております。(事務局長 高須賀 清)
NPO法人「あい・友」ホームページ
<http://www.aiyuu.or.jp/>